



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第17号
令和2年10月23日発行
千葉市立貝塚中学校
TEL231-7077

◆時を守り、場を清め、礼を正す◆

校長 北島 啓行

以前の学校だよりで、『時を守り、場を清め、礼を正す』という、人間にとって大切な三原則について書きましたが、今回は、『礼を正す』についてです。

《礼を正す》とは、「あいさつをすること」「返事をすること」そして「服装を正すこと」です。あいさつは人間関係の基本であり、あいさつのない国はありません。大事なことは、自分からあいさつをすること。これを心がけていると、人から愛され、より良い人間関係が築けます。



そして、返事も同じです。自分が呼びかけたり話しかけたりしたときに、相手が返事をしてくれなかったら、どんな気持ちになるのでしょうか。素直な返事ができる人は、心に余裕があり受け容れる器(うつわ)が大きい人、将来伸びていく人なのだそうです。服装については、その場その場に合った決まりがあります。例えば、お葬式に自分勝手な服装で参加したとしたら、それは「失礼」になってしまいます。スポーツの世界でも、ユニフォームを着用していなかったり、着くずしたりしていると、試合への出場が認められません。10月30日には貝塚祭が予定され、外に出る機会があります。また、3年生は受験準備で外に出る機会が増えてきます。服装を正すということは、人に対する思いやりの表れなのです。

◆第2学年出前授業より◆

第2学年では、外部から講師を招き、出前授業を実施しています。現在、キャリア教育の一環で職業や上級学校について学習しています。今年度、職場体験が新型コロナウイルス感染症対策で実施できなかったため、これに代わるものです。今回は、社会福祉労務士の方より、「働く前に知っておきたいこと」の演題で望ましい職業観や勤労観及び職業に関する知識を深める機会を得ました。今後、千葉銀行の広報課の方や千葉県立京葉工業高等学校の先生をお招きして、さらに学習を深めていきます。



◆心を込めて、心を一つに（思×奏）◆

30日（金）の貝塚祭（合唱コンクール）に向けて、各クラスとも練習にも熱が入り、当日の発表に向けて準備を進めているところです。歌声推進委員長に貝塚祭に向けての言葉をもらいました。

朝や放課後、校内に歌声が響きわたるようになってから約1カ月が経ちました。クラスの合唱は、完成に近づいていますか？ 今年には感染症の影響により、多くの全校・学年行事がなくなってしまいました。そんな中で、貝塚祭は今年唯一の全校行事となります。是非、全力で取り組み、どのクラスも一丸となって楽しんでほしいと思います。そして将来、あんな状況だったけど、楽しかったね、と話せるような思い出にしてください。貝塚祭まで残された時間は短いですが、もっと良くしようと思えば、いくらでも良くなっていきます。最後まで上を目指していきましょう。貝塚祭の当日、「思×奏」。今年のスローガンのように、それぞれの思いを歌にのせて、貝塚中の合唱が奏でられることを楽しみにしています。

歌声推進委員長 ○○ ○○ さん



学年リハーサル



2,3年合同練習会



第二音楽室の練習

◆10月はノーベル賞の時期です◆

10月はノーベル賞の発表・授賞式の時期です。ノーベル賞とは、ダイナマイトの発明者として知られるアルフレッド・ノーベルの遺言に従って創設された世界的な賞です。物理学、化学、生理学・医学、文学、平和および経済学で顕著な功績を残した人物に贈られます。授賞式終了後、ストックホルム市庁舎で、スウェーデン王室および1000人以上の関係者が参加する晩餐会が行われます。



私は以前、文部科学省の派遣でスウェーデンを訪問し、会場を見学しましたが、それは荘厳で、豪華絢爛な様子です。日本に関連する人はこれまで、物理学賞11人、化学賞10人、生理学・医学賞5人、文学賞3人、平和賞1人の計30人が受賞していますが、今年度は残念なことに受賞者はいませんでした。

◆マスクホルダーをいただきました◆

コロナ禍の生活において、マスクは必要不可欠なものとなりました。電車やバスに乗り降するときも、マスクをしていないと、ちょっと周囲の視線が気になります。また、マスクの生活で外した時のマスクの置き場に困ることがあります。そこで、「マスクホルダー」を全校生徒分、いただきました。これは、本校教諭のお母様の手作り作品です。是非ありがたく使わせていただきます。

